

VOL.3
2018.6.1



熱中症

だんだん暑くなってきましたね？
夏本番になる前に熱中症を知って、
大切なペットちゃんを熱中症から守りましょう？



こんな時はすぐ病院へ？

- 元気がない。ぐったりしている。
- 呼吸が荒い。フラフラ歩く。
- 体温が高い。
- よだれが大量にでている。

病院にいくまでの応急処置？

- ①涼しいところに移動させる。
 - ②お水を飲ませ、体に水をかける。
 - ③うちわなどで風を送り、気化熱で体温を下げる。
- △氷水は使わないこと！

熱中症を予防するために

- 風通しをよくしたり、エアコンで温度・湿度を調整する。
- いっってもお水が飲める環境をつくる？
- 温度・湿度が高い時のお散歩は控える

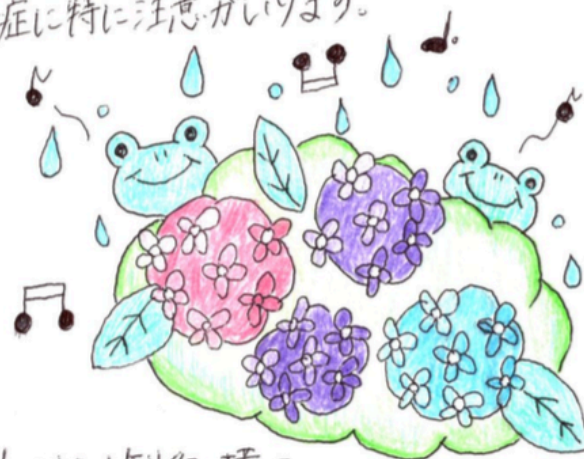
車内のお留守番は避ける？

車は日光やエンジンの熱でとても熱くなります。
エアコンをつけておいても、止まる恐れがあります。
少しの時間でも避けましょう！

★短頭種、大型犬、幼・老・歯の折れ、熱中症に特に注意がいります。

NEKO②～もしかしら関節炎のサインかも～

7才を越えたら爪をチェックしましょう！
爪が分厚くなっていたら関節炎が始まっているかもしれません…。
シニアフットに変えるなどして、対策を始めましょう！



Letter制作:横田